

事業名:【H30当初】産地活性化総合支援事業(農業機械等リース支援事業)

所在 市町村等	事業実施主体	実施年度	目標年度	目標1							目標2							目標3							事業計画 の妥当性	適正な事 業執行	地方農政局長等の所見			
				目標	単位	目標数値						目標	単位	目標数値						目標	単位	目標数値								
						現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率	再評価 実績値	再評価 達成率			現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率	再評価 実績値	再評価 達成率			現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率	再評価 実績値	再評価 達成率			
八重瀬町	合同会社TKF	平成30年度	令和2年度	10a当たりの労働時間10%以上削減	hr/10a	105.7	33.5	36.2	96.3%	34	99.3%	株出栽培の10a当たり収量5%以上増加	kg/10a	5,057	6,381	5,226	12.8%	6,220	87.84%	-	-	-	-	-	-	-	○	○	ハーベスターを導入することで労働時間の削減を目指し、目標を概ね達成。単収向上の目標については未達であったが、一定程度の成果は出ている。事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、再評価は行わず、引き続き目標達成に向け取組を促す。	
豊見城市	農業生産法人 株式会社楽楽	平成30年度	令和2年度	10a当たりの労働時間10%以上削減	hr/10a	57.8	45.0	-	-	46.57	87.9%	株出栽培の10a当たり収量5%以上増加	kg/10a	4,600	5,779	5,382	66.3%	5,017	35.4%	生産量を5%以上増加	t	1,491	1,794	1,300	-63.0%	1,249	-79.9%	○	○	トラクター等を導入することで労働時間の削減、生産量の増加及び単収の向上を目指したが、いずれも目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。